

活動や体験を通して生活科における気づきの質や表現力を高めるための授業の工夫

日立市立河原子小学校

1 はじめに

本校では、生活科や総合的な学習の時間において、様々な体験的な活動を行っている。その中では、地域の方やゲストティーチャーを招いて活動している場もある。例えば、全学年地域の方とのふれあい給食を行っている。それらを通して、6年生は戦争の話を聞いたり、1年生は昔遊びを2回行った後に、感謝の会を催して一緒に給食を食べたりしている。

授業では、体験したり実践したりしたことを、文章や絵で表している。そして教室に掲示したり、グループの中で読み合ったり、朝の会などで発表をして、友だちの意見を知るようにし、伝え合う活動をしている。

今回は、2年生の町探検の活動を通して、体験したこと、感じたことを、交流している1年生、授業参観では保護者の方、さらにふれあい給食では、地域の方にも、伝え合う活動する場を広げた。そして、気づきの場を共有し、質をたかめていきたい。

2 実践例（第2学年）指導案

1 単 元 レッツ ゴー！ 町たんけん

2 目 標

○自分の生活している町に関心をもち、地域の人々や様々な場所に親しみをもってかかわったり、友達と協力して町を探検したりしようとする。
(生活への関心・意欲・態度)

○地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや、安全に生活することについて考えたり、町探検で発見したことや気付いたことについて、自分らしい方法で表現したりすることができる。
(生活や体験についての思考・判断)

○町の自然や人々、社会、公共施設などのようすや、自分たちの生活とのかかわりに気付くとともに、自分の町のよさに気付くことができる。
(身近な環境や自分についての気づき)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、地域の人々や公共施設、自然とのかかわりを通して、自分たちの住んでいる地域の良さを発見するとともに、地域社会とのかかわりをさらに深めることをねらいとしている。

(2) 児童の実態（34名）

本単元に関するアンケートを行ったところ次のような結果が出た。

	好き	少し好き	少しきらい	きらい
1 生活科の学習は好きですか。	32名	0名	0名	0名
2 生活科の学習で、発表をするのは好きですか。	28名	2名	2名	0名
3 自分で見たり思ったりしたことをまとめるのは好きですか。	26名	5名	0名	0名
4 友達の発表を聞くのは好きですか。	30名	1名	1名	0名

アンケートの結果から、発表したりまとめたりすることがあまり好きではない児童がいることがわかる。

(3) 題材の系統

1年 さあ みんなで でかけよう

2年 レッツ ゴー！町たんけん

もっと 知りたいな 町のこと

(4) 指導観

本単元では、学習指導要領の内容(3)(4)(5)を受けて設定されたもので、町探検を行った後、自分で見つけたり気付いたりしたことを自分なりの方法でまとめることができるようにする。そして、発表会を通して気付きを共有し広げることができるように、教え合い伝え合いの場とする。さらに、1年生や保護者、地域の方に伝える場を設けることにより、目的意識を高めたい。また、この単元で得た地域や人々に対する思いや気付きは、2学期の単元「もっと知りたいな 町のこと」につなげていきたいと考える。また、「かしこさプラン」にあるように、自分に合った発表の方法を選ぶようにし、グループ発表については、役割分担をして一人一人が活躍できる場を確保できるようにして、教え合い、励まし合いをしながら、ともに達成感を味わい、気付きの質を高めていくことができるように配慮したい。

4 学習計画(15時間扱い)

第1次	さあ、さくせんかいぎだ！・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2時間
第2次	町を たんけんしよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3時間
第3次	どんな ひみつが 見つかったかな ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3時間
第4次	はっ見したことを しょうかいします。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7時間

時	学習内容	観点別評価			判断状況(評価方法)		努力を要すると判断された児童への手だて
		関 意 態	思 ・ 判	気 付 き	B	A	
1 ～ 3	学区探検で見つけたことや気づいたことを、自分なりにまとめる。		○		町探検で見つけたことや気付いたことを自分なりにまとめることができる。 [観察・作品]	町探検で見つけたことや気付いたことを自分なりに工夫してまとめることができる。 [観察・作品]	・教科書の例を参考にまとめるように助言する。
4 本時 ～ 7	まとめたことを発表する	○		○	町探検で見つけたことや気付いたことを友達に伝えることができる。また友達の発表を聞こうとする。 [発表・観察]	町探検で見つけたことや気付いたことを友達にわかりやすく伝えることができる。また友達の発表と自分の発表の違いに気付いて聞こうとする。 [発表・観察]	メモを見て発表をしてもよいことや多少言葉が変わってもよいことを伝える。

第5次 おれいの気もちをとどけよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の指導

(1) 目標

- ・町探検で見つけたことや気付いたことを、発表することができる。
- ・町探検で見つけたことや気付いたことを伝え合うことにより、河原子の町にいつそう関心や親しみをもとうとする。

(2) 準備・資料

発表の資料 アドバイスカード 振り返りカード

(3) 展開 (●: 配慮を要する児童への支援 ◆: 重点に関する取り組み (評) 評価)

学習活動及び内容	支 援 と 評 価
1 本時の学習課題をつかむ 「かわら子の町のひみつ」をつたえよう 2 発表会において約束を確かめる。 ○話す人 声の大きさ・速さ・みんなの方を見て ○聞く人 だまって、最後まで、みんなの方を見て 3 町探検をしてわかったことや気付いたことをグループごとに発表する。 ① 前半のグループの発表をする。 ・紙芝居グループ ・壁新聞グループ ・劇グループ ② 後半のグループの発表をする。 ・絵本グループ ・ペープサートグループ ・劇グループ 4 本時の活動を振り返り、自己評価をする。 (1) 友達の発表の良いところを発表する。 (2) 友達の発表を聞いて、わかったことを発表する。 (3) 振り返りカードに自己評価をする。	・本時の活動の見通しをもち、意欲的に学習に取り組めるようにする。 ・自分たちの発表会という意識を高めるために、 ・「声のダイヤル」を掲示し、発表する声の大きさに気をつけるように促す。 ・「聞き方マナー」を思い出させ、意識して聞くように促す。 ・学級で8班編制なので、発表する班と聞く班とに分けておき、前半、後半、4班ずつ交代で行う。 ◆一人一人の思いが生かせるように、役割分担をしておく。 ●発表に自信のないA児には、メモを見て発表をしてもよいことを助言し安心感をもたせる。 ◆聞くグループは、友達の発表が終わったら、良いところや疑問点、質問したいことを「アドバイスカード」に書くように促す。 ・友達の発表をめあてをもって聞くことにより、自分が気付かなかったことを発見できるようにする。 ・教師は、質問をしている児童や、良いところを見つけている児童を賞賛し、活動の意欲が高まるようにする。 ●友達の発表について、「アドバイスカード」が書けない児童には、どんなところが良かったか傍らにいて言葉を引き出す。 (評) まとめたことを分かりやすく伝えることができたか。 【観察・発表・振り返りカード】 (評) 友達の発表に共感をもって聞き、関心をもつことができたか。 【観察・発表・感想カード・振り返りカード】 ・児童の感想を紹介し、発表への意欲を高めたい。

3 資料（実践事例）



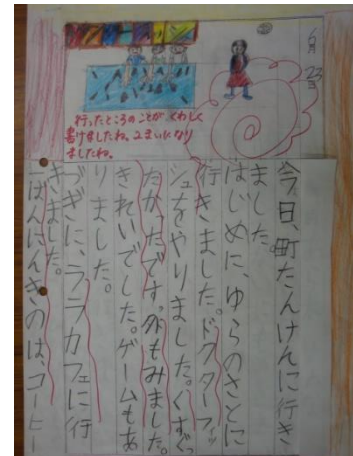
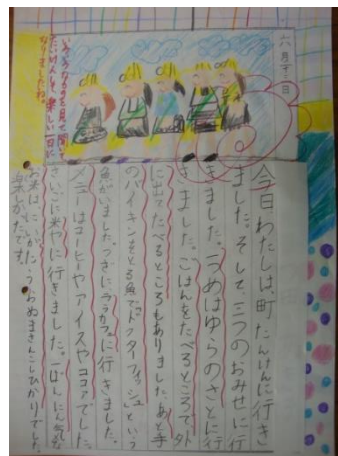
1 年生に



保護者の方に



地域の方に



ワークシート

4 成果と課題

- ・ 町探検の前に学年全体で、町巡りをするすることで、どんな施設や自然があるのかがわかり、興味・感心をもつことができた。また、次に自分たちでどんなことを調べたいか考える手立てとなった。
- ・ 子どもたちが探検したことをまとめる段階では、誰がどの場所をまとめるかをグループの中で分担した。分担することによって、自分で責任をもってまとめ、活動への感心や気付きをもつことができた。
- ・ 見たり聞いたりしたことを自分の言葉や絵などにまとめることにより、気付きがわかった。またまとめたことを発表した。発表は、交流がある1年生、授業参観では保護者の方に、また、いつも交流がある地域の方には、ふれあい給食のときに発表をした。何回か発表することにより、発表が上手になり、町探検をしたときの出会った「人・もの・こと」への関わりが深まった。また、互いの気付きを比べ、お互いに気付いたり、新しいことに気付いたりすることができた。
- ・ 児童の中には、お店に行って楽しかったとか、こんな物があったという感想に終わってしまう児童もいた。今後、教師の問いかけによってさらに詳しく書けるようにしたり、友だちと比べるように促したりして、気付きの質を高めていきたいと思う。